

科目名	スポーツ自由研究C						年度	2026	
英語科目名	Selective study for sports C						学期	前期	
学科・学年	スポーツ健康学科 サッカーコース 2年次	必/選	選※	時間数	30	単位数	1	種別※	実習
担当教員	八重樫、志佐		教員の実務経験		有	実務経験の職種	クラブチーム、大学サッカー部にてサッカーコーチとして従事		
【科目の目的】 体育祭およびスポーツ・医療カレッジのイベントにおいて、スタッフ等のボランティア活動を行い、主体的にイベント運営に携わることを目的とする。									
【科目の概要】 スポーツに関することをさまざまな角度から捉え、実態や動向を明確にし、その意義・本質などを見極め理解を深めます。									
【到達目標】 学生が1つの事柄の成功に向かって、準備～撤収までを協力して行うことを目標にしています。①体育祭などを通じて、スポーツ・医療カレッジが担う業務・運営を行い、成功に導くことを目標とします。②スポーツ活動・スポーツイベントにおけるボランティア活動（スタッフ実務など）を行い、スポーツの理解を深めることを目標とします。 A. イベントの成功に向け、スケジュールを逆算し、計画的な行動をすることができる B. イベントの成功に向け、自身の成長に向き合い、主体的に役割を果たすことができる									
【授業の注意点】 授業時数の4分の3以上出席しない者は評価することができない。体育祭は、スポーツ・医療カレッジだけではなく学校全体の行事となる。科目履修としてだけでなく、学内活動の参加として積極的に行動すること。スポーツ活動やスポーツイベントは、様々な方と関わるため、積極的な態度で行動すること。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	イベントの成功に向け、スケジュールを逆算し、計画的な行動をすることができる		イベントの成功に向け、スケジュールを逆算した行動をすることができる		イベントの成功に向け、行動をすることができる				
到達目標 B	イベントの成功に向け、自身の成長に向き合い、主体的に役割を果たすことができる		イベントの成功に向け、少しでも主体的に役割を果たすことができる		イベントの成功に向け、指示を受ければ、役割を果たすことができる				
到達目標 C									
到達目標 D									
到達目標 E									
【教科書】 特になし。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 積極的な授業参加態度によって評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		スポーツ自由研究C			年度	2026
英語表記		Selective study for sports C			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	オリエンテーション	オリエンテーション	1 イベント内容の確認	イベントの概要を知り、イベント実施内容とスケジュールを確認します	3	
			2 スケジュールの確認			
2	イベントの企画	イベントの企画立案作業	1 企画案の募集	企画の案出し作業をグループワークで行います	3	
3			1 企画案のプレゼン準備	企画案のプレゼン準備をグループワークで行います	3	
4			1 企画案のプレゼン	グループで企画案のプレゼンを行い、コンペ方式で提案します	3	
5			1 企画案の選定と準備計画	採用された企画案の準備計画をグループワークで決定します	3	
6						3
7				3		
8				3		
9	イベントの準備活動	イベントの準備活動	1 イベントの準備活動	準備計画に基づいてイベントの準備活動を実施します	3	
10				3		
11				3		
12				3		
13	イベントの実施	イベントの実施	1 イベントの実施	イベント当日、企画案および準備計画に基づきイベントを実施します	3	
14					3	
15	まとめ	イベントのまとめと振り返り	1 イベントのまとめと振り返り	イベントのまとめと振り返りをグループで行い、反省点を見出し、次のイベントに向けた改善点を洗い出すことができる	3	

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等